

# 日本早期認知症学会誌

The Journal of  
Japan Society for  
Early Stage of  
Dementia

## 第19回 日本早期認知症学会学術大会 in 松江 プログラム・抄録集

会 期：2018年10月6日(土)～7日(日)

会 場：松江テルサ

会 長：重森 健太（関西福祉科学大学）

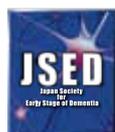
同時開催学会：第23回 日本神経精神医学会

共同開催：臨床脳電位学会

日本生体医工学会 BME on Dementia 研究会



**DEMENTIA**  
2018 Vol.11 No.3



第19回

# 日本早期認知症学会 学術大会

エビデンスに基づいた  
脳の診方，鍛え方

[大会長] 重森 健太 (関西福祉科学大学 教授)

[会場] 松江テルサ (島根県松江市)

[会期]

2018.10. **6・7**  
土 日

共同  
開催

第23回

日本神経精神医学会

大会事務局

関西福祉科学大学 保健医療学部

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号

TEL/FAX: 072-942-4380

E-mail: 19jsed@gmail.com

# INDEX

---

ご挨拶	1
大会組織	2
後援団体一覧	2
学術大会参加者へのお知らせとお願い	3
演題発表に関するご案内	5
座長・演者の皆様へ 一事前打ち合わせのご案内	6
交通のご案内	7
会場案内図	8
大会日程表	10
プログラム	
特別講演	12
シンポジウム	14
ランチョンセミナー	16
公開セミナー	17
一般演題	18
抄録	
特別講演	25
シンポジウム1	33
シンポジウム2	37
シンポジウム3	43
ランチョンセミナー	49
一般演題	53
第20回日本早期認知症学会学術大会のご案内	80
日本早期認知症学会 役員一覧	81
一般演題筆頭演者 索引	82
協賛一覧	83

## ご挨拶



第19回日本早期認知症学会学術大会

大会長 重森 健太 関西福祉科学大学

我が国は世界に類を見ないスピードで認知症者が増加しており、その施策は世界中から注目されています。ご承知のとおり、認知症は個人レベルの生活の質の低下や、介護者の精神的および肉体的な負担のみならず、社会に与える影響も極めて大きいため、地域の認知症者対策は世界的な課題となっています。近年、高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、喫煙などの血管危険因子が認知症の発症に関与するとし、さらに定期的な運動(特に有酸素運動)、余暇活動、社会的参加、食習慣などが発症の防御因子となることがわかってきました。

こうした社会情勢の中で、第19回日本早期認知症学術大会の開催を仰せつかり、本大会の目標として「エビデンスに基づいた脳の診方、鍛え方」というテーマを掲げました。認知症の早期発見に関わる医学的知見だけでなく、認知症予防の最新技術を整理し、運動・栄養・生活習慣の側面からその効果を検証することをコンセプトとしています。

本大会のプログラムでは、一般演題に加えて、シンポジウム3題、特別講演6題、各種セミナー等、多くの学びの場を用意しています。一般演題は、ディスカッションする機会を多く持っていただくために、全てのセッションをポスター発表とさせていただきました。シンポジウムでは、まず今話題の「認知症包括的ケア」について多職種で議論し、その後、大会のテーマでもある「脳の診かた」「脳の鍛え方」について議論できればと考えています。特別講演では、大会1日目は認知症者の「運転」「対話」「栄養」「運動」を、2日目は「ガイドライン2017」と「認知症疫学」について科学的に検証していきます。大会一日目の最後には、学び疲れた脳をリフレッシュしていただくために、松江市出身のサクソ奏者による音楽鑑賞会や、合同開催である第23回日本精神神経医学会とのワンコインパーティーなど、心安らく時間も設けさせていただきました。

さらに、本大会では、そのような学術的側面だけでなく、島根県松江市の特性を活かすことにも目を向け、松江市や松江医師会と協力しながら市民参加型の認知症相談会、認知機能測定会、市民公開講座、物産展、お茶会等の地方創生イベントを盛りだくさん企画いたしました。

今年は、大名茶人として名高い松江七代藩主、松平不昧公(1751～1818)が没後200年を迎え、松江各地で「不昧公200年祭」の行事が行われています。学会にご家族と参加され、大茶会などに参加されるのも良いかもしれません。松江には宍道湖温泉がありますし、近くには縁結びの神・福の神として名高い出雲大社もあります。松江市はとても立派な城下町で、古き良き街並みが今もなお残っています。おそらく皆様の心を癒してくれるひとときになるでしょう。

このように、最先端の学びはもちろんですが、癒しや楽しみも兼ね備えた学術大会ですので、ぜひお誘いあわせの上お越しいただければ幸いです。大会スタッフ一同、心よりお待ち申し上げます。

## 大会組織

- 大会長 重森 健太(関西福祉科学大学)
- 副大会長 中島 健二(松江医療センター)
- 副大会長 松嶋 永治(まつしま脳神経内科クリニック)
- 準備委員長 名倉 達也(掛川東病院)
- 実行委員長 岡本 加奈子(関西福祉科学大学)
- 大会事務局
- 財務部長 中俣 恵美(関西福祉科学大学)
- 総務部長 金原 一宏(聖隷クリストファー大学)
- 庶務部長 大杉 紘徳(城西国際大学)
- 渉外部長 合田 明生(京都橘大学)
- 大会運営局
- 運営部長 橋村 康二(島根リハビリテーション学院)
- 管理部長 山本 圭彦(リハビリテーションカレッジ島根)
- 庶務部長 太田 珠代(出雲看護専門学校)
- 学 術 局
- 学術部長 安間 稔泰(掛川東病院)
- レセプション
- 運営部長 渡辺 剛(松江赤十字病院)
- 相 談 役 湯浅 龍彦(鎌ヶ谷総合病院 千葉神経難病医療センター)
- 統 括 顧 問 大城 昌平(聖隷クリストファー大学)

---

## 後援団体一覧

- 松江市
- 島根県医師会
- 松江市医師会
- 島根県歯科医師会
- 松江市歯科医師会
- 島根県薬剤師会
- 松江市薬剤師会
- 島根県理学療法士会
- 島根県作業療法士会
- 山陰言語聴覚療法士会

# 学術大会参加者へのお知らせとお願い

## I 会期

日時：2018年(平成30年)10月6日(土)～7日(日)

会場：松江テルサ(島根県松江市朝日町478-18)

## II 参加者の皆様へ

参加の事前登録はありません。すべて当日受付デスクでの登録となります。

### 1. 参加受付

1) 受付会場：テルサホール(1階)の入口前に設けております。

2) 受付時間：10月6日(土) 8:10～17:00

10月7日(日) 8:30～13:00

受付にて参加登録用紙に必要事項をご記入の上、参加費を添えてご提出ください。

引き換えにネームカード(領収証兼用)をお渡しいたします。

### 3) 参加費(当日登録のみ)

【区分】	医師／歯科医師／鍼灸師	左記以外の医療従事者	
正会員	10,000円	5,000円	
非会員	11,000円	6,000円	抄録集別途※2
	企業		11,000円 抄録集別途※2
	一般		2,000円 抄録集別途※2
	学生		1,000円 抄録集別途※2

※1 学生の方は、受付にて学生証を提示してください。

大学院生、前期研修医の方は、医師としての受付となります。

※2 抄録集は学会誌(抄録号)となっており、非会員、企業、一般、学生の方には配布がありません。購入ご希望の方は当日、総合受付で1部2,160円(税込)にてご購入ください。

### 2. プログラム・抄録集

会員の方は、事前に郵送したプログラム・抄録集(本号)をご持参ください。

会員以外の方は、1部2,160円にてご購入ください。

### 3. 合同ワンコインパーティー

本大会の懇親会は日本神経精神医学会との合同ワンコインパーティーとして開催します。

10月6日(土) 18:30～19:00、4階第2会場(大会議室)にて開催いたします。

会費は、500円です。参加ご希望の方は、受付会場の「合同ワンコインパーティー参加受付」でお申し込みください。

### 4. 同時開催学会への参加

本学会参加者は、第23回日本神経精神医学会の一般演題を除くプログラムに参加できます。

7階ドームシアターにて本学会参加証をご提示ください。プログラムの詳細に関しては、下記ホームページをご参照ください。

第23回日本神経精神医学会(<http://jna23.umin.jp/>)

### 5. クローク

総合受付横にクロークを準備いたします。

荷物は一つにまとめてください。貴重品や壊れやすいものなどはお預かりできませんので、自己管理をお願いいたします。

## 6. ランチョンセミナー

10月6日(土)、7日(日)、お昼の時間帯はランチョンセミナーを予定しております。セミナーの整理券は、総合受付にご用意いたします。参加受付を済まされた方から順に配布いたします。セミナー会場入口でお弁当をお受け取りの上、ご入場ください。

## 7. 機器・書籍展示会

会期中、テルサホールロビーにて展示いたします。

## 8. 認知症ケア専門士単位認定について

本学術大会に参加されますと、認知症ケア専門士の単位(3単位、発表者はプラス1単位)認定の申請ができます。申請を希望される方は、日本認知症ケア学会の規定に従いご自身で申請してください。

## 9. 会場内での諸注意

- 会場内では、必ずネームカードをお付けください。
- 会場では、ご来場の皆様の受動喫煙を防止するため、喫煙をご遠慮いただいております。
- セミナー会場、演題発表会場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。各会場内での通話をご遠慮ください。
- 会場内の呼び出し：原則として、会場内でのアナウンスによる呼び出しはいたしません。

## 10. その他

- 1) 入場後は「非常口」の確認をしてください。万一、事故発生の場合は係員の指示に従ってください。
- 2) 他学会の会場で、置き引きなどの被害が報告されています。  
ご講演中も貴重品は常に携帯いただき、盗難には十分にご注意ください。

## III 論文賞・若手奨励賞の表彰について

論文賞は10月6日(土)の会員総会において表彰の予定です。

若手奨励賞は10月6日(土)の会員総会において発表・表彰の予定です。

## IV ビジネスミーティング

代議員会・総会

10月6日(土) 13:10～14:00 第1会場(1F テルサホール A・B)

## V 市民公開セミナー・市民公開講座

どなたでも参加できる無料の公開講座です。

10月7日(日) 9:00より総合受付にて受付を開始します。

## 演題発表に関するご案内

第19回日本早期認知症学会学術大会では、全ての発表を示説(ポスター)形式で行います。待機時間は90分です。指定された時間にポスター前に待機し、聴講者とディスカッションを行います。個別での発表時間は設けません。指定された時間内に多くの聴講者と積極的なディスカッションをしていただきます。

### 1. ポスター作成にあたって

- ポスターパネルは高さ180cm、幅120cmです。パネル上部左側の演題番号は事務局で用意します。演題名、所属、氏名は、高さ20cm×幅70cm以内のサイズで各自ご用意ください。
- 展示有効スペースは高さ160cm×幅90cmです。
- ポスターは研究の目的、方法、結論が明確にわかるように作成してください。

### 2. ポスターの貼り付けについて

- 貼付時間は、10月6日(土) 9:00～9:30となっております。
- 「テルサホールC」にて指定された場所に時間内に貼付を行ってください。押しピンは事務局にて用意いたします。
- 貼付が上記時間に間に合わない場合は、進行の妨げにならないよう貼付作業を行ってください。

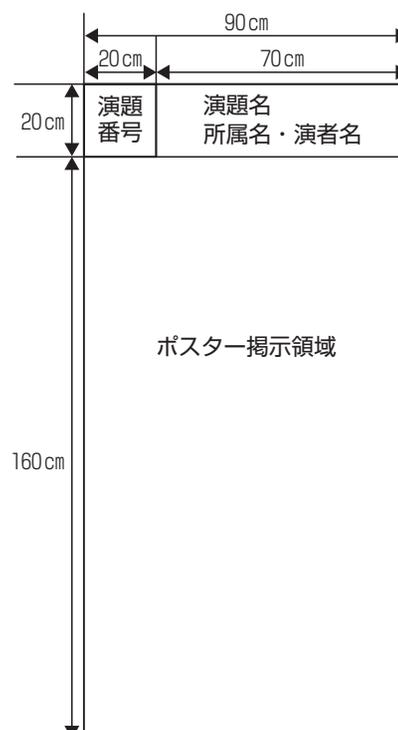
### 3. 発表者受付について

- ポスター受付は設置していないため、ポスターの貼付をもって受付完了とみなします。
- 演者は開始時刻10分前に各自のポスター前で待機してください。なお、該当セッション時間中は、その場を離れないようお願いいたします。

### 4. ポスター撤収について

- 撤収時間は、10月6日(土) 16:00～17:00となっております。
- 時間内に撤収できない場合は、学会終了後に事務局にて処分させていただきますのでご了承ください。

〈作製要領〉



## 座長・演者の皆様へ ―事前打ち合わせのご案内

### ■ 座長の皆様へ

#### 【特別講演・ランチョンセミナー】

セッション開始時間の30分前までに大会本部にお越しいただき、演者と打ち合わせを行ってください。

#### 【シンポジウム】

セッション開始時間の30分前までに大会本部にお越しいただき、シンポジストと打ち合わせを行ってください。

### ■ 演者の皆様へ

#### 【特別講演・ランチョンセミナー】

セッション開始時間の30分前までに大会本部にお越しいただき、座長と打ち合わせを行ってください。

#### 【シンポジウム】

セッション開始時間の30分前までに大会本部にお越しいただき、座長・シンポジストと打ち合わせを行ってください。

### ■ 発言者の皆さまへ

座長の許可を得た上でフロアマイクをご使用ください。  
その際、所属・氏名を述べてから質問を始めてください。

## 交通のご案内

### ●会場へのアクセス

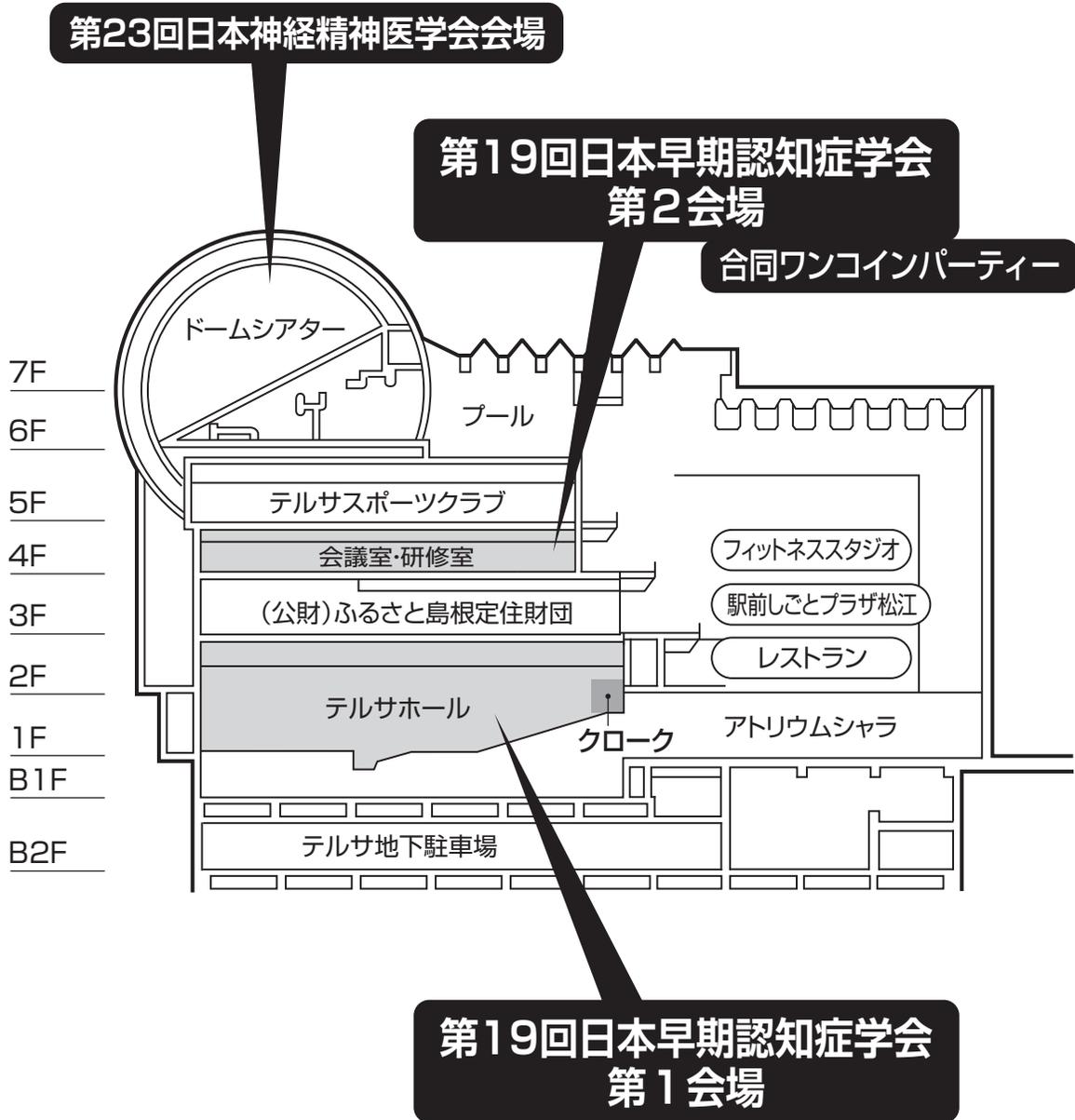
松江テルサ 〒690-0003 松江市朝日町478-18(JR松江駅前)

URL <http://www.sanbg.com/terrsa/>

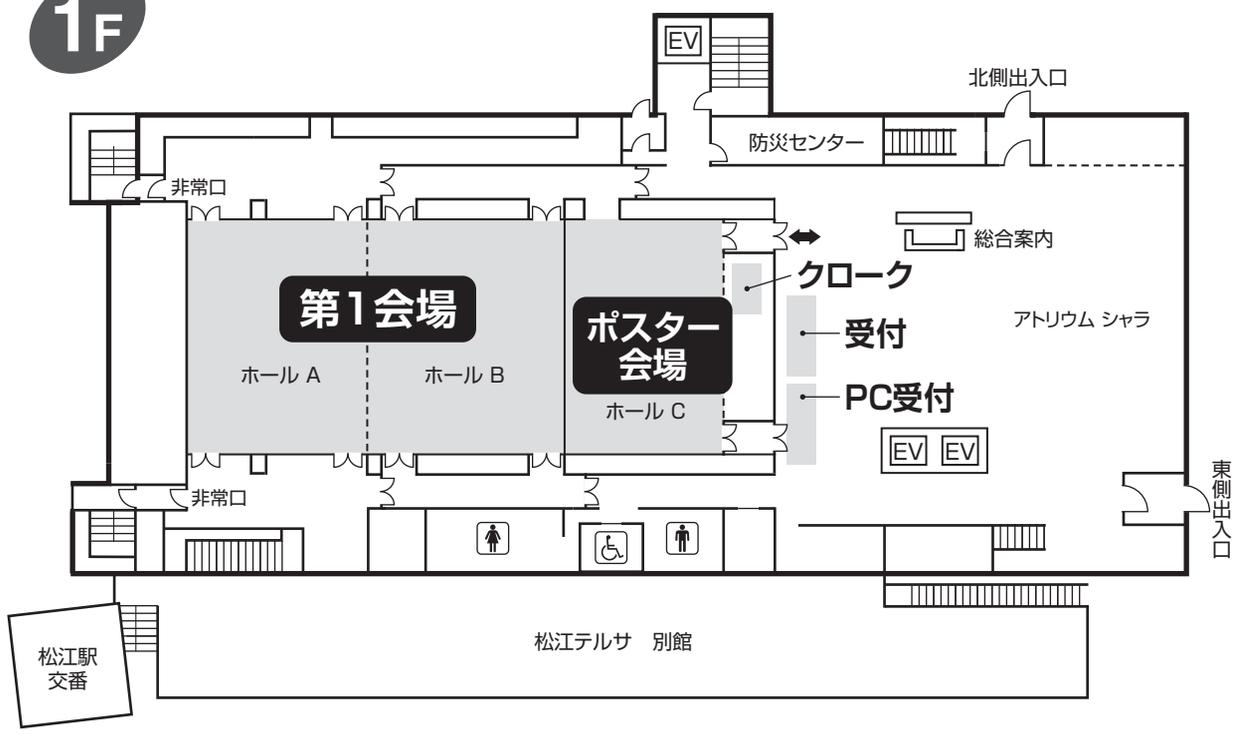


- JR山陰本線JR松江駅北口から徒歩1分
- 米子鬼太郎空港よりJR松江駅へ 空港連絡バスで約45分
- 出雲縁結び空港よりJR松江駅へ 空港連絡バスで約30分
- 車でお越しの方は会場及び近隣の有料駐車場をご利用ください

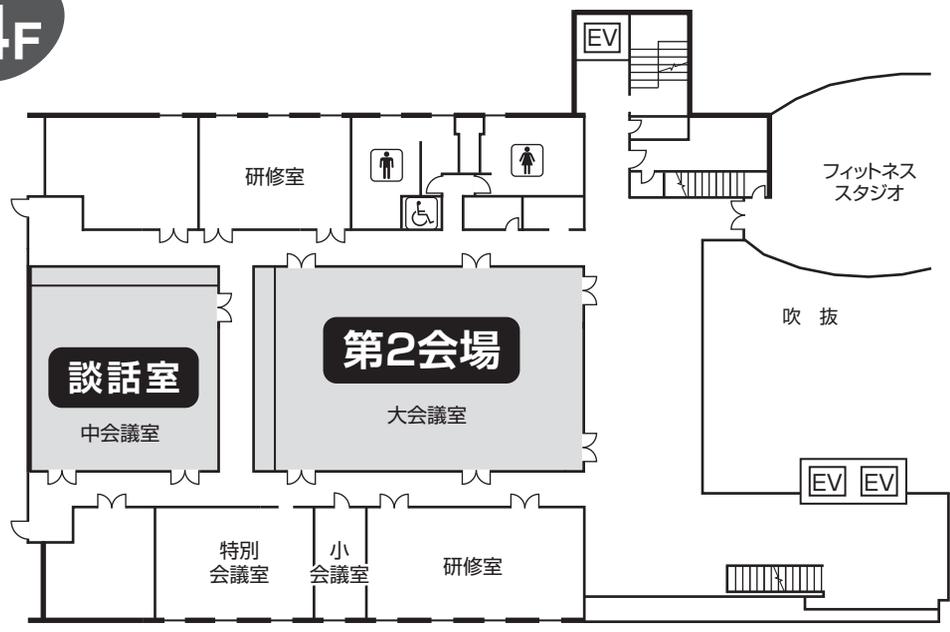
# 会場案内図



1F



4F



1日目 10月6日土

	第1会場 テルサホール A・B	ポスター会場 テルサホールC	アトリウム シアラ	第2会場 大会議室	談話室 中会議室
8:10	8:10～ 受付開始				
9:00	8:45～ 開会式				
10:00	9:00～10:30 シンポジウム 1 松江市における早期認知症の包括的ケア 座長：古和 久典 イントロ：松嶋 永治 演者：湯浅 佳代、河野 美波子 高橋 京子、松嶋 永治	9:00～9:30 ポスター 貼付け	9:00 ～ 17:00 機 器 展 示		9:00 ～ 17:00 談 話 室
11:00	10:40～11:40 特別講演 1 高齢者の認知機能低下と運転能力 座長：志村 孚城 講師：目黒 謙一	10:30 ～ 12:00 ポ ス タ ー 1		10:40～11:40 特別講演 2 認知症高齢者との対話法 ～バリエーションの理論と実際 座長：奥山 恵理子 講師：都村 尚子	
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 1 認知症と遺伝子の関係： ゲノム医療への展望 座長：湯浅 龍彦 講師：池内 健 共催：ノバルティス・ファーマ株式会社			12:00～13:00 ランチョンセミナー 2 アルツハイマー病の発症機構と陳皮 の臨床応用 ～ADの発症・進展にミ エリン損傷が関与する可能性～ 座長：犬塚 貴 講師：工藤 千秋 共催：クラシエ製薬株式会社	12:00 ～ 13:30 学 生 ポ ス タ ー 発 表
13:00	13:10～14:00 代議員会・総会				
14:00	14:20～15:20 特別講演 3 認知症予防としての栄養を科学する 座長：神野 麻弥子 講師：高島 英昭	14:20 ～ 15:50 ポ ス タ ー 2		14:20～15:20 特別講演 4 認知症予防としての運動を科学する 座長：大杉 紘徳、合田 明生 講師：牧迫 飛雄馬	談 話 室
15:00	15:30～17:00 シンポジウム 2 エビデンスに基づいた脳の診かた 座長：宮島 裕明、中島 健二 演者：中島 健二、深田 育代 島田 斉、高田 照男	16:00～ 17:00 撤 去 ポ ス タ ー		15:30～17:00 シンポジウム 3 エビデンスに基づいた脳の鍛え方 座長：工藤 千秋 演者：松田 雅弘、大杉 紘徳 梅本 充子、大西 典子	
16:00	17:10～18:10 ナイトセミナー (音楽鑑賞会・その他)				
17:00				18:30～19:00 合同ワンコインパーティー	
18:00					
19:00					

2日目 10月7日

	第1会場 テルサホール A・B	ポスター会場 テルサホールC	アトリウム シヤラ	第2会場 大会議室	談話室 中会議室
8:30					
9:00	9:00～ 受付開始		9:40 ～ 13:00 機器 展示	9:00～10:00 特別講演 5 嗜銀顆粒性認知症と神経原線維変 化型老年期認知症 座長：松嶋 永治 講師：足立 正	9:00 ～ 13:00 談 話 室
10:00	10:00～12:00 第一部：市民公開セミナー さあ出かけようテルサへ ～知る、測る・試す、相談する～ ●テルサホール A・B： ビデオ鑑賞会（日本早期認知症学会） など ●テルサホール C： 医療相談会（松江医師会、松江医療センター） 認知機能検査測定会（日本早期認知症学会） ●アトリウムシヤラ： ロボットスーツ（HaL）体験（CYBERDYNE） アニメ「ギャートルズ」の展示会（山下プランニング・ルーム） 茶会（松江市） など 共催：松江市、松江市医師会			10:10～11:10 特別講演 6 鳥根県海士町における 認知症疫学調査 座長：中島 健二 講師：和田 健二	
11:00			機器 展示	11:30～12:30 ランチョンセミナー 3 ホットピックをつまみ食い！ パーキンソン病関連疾患と認知症 座長：石川 厚 講師：島田 斉 共催：大塚製薬株式会社	
12:00				12:30～ 閉会式	
13:00	13:00～15:00 第二部：市民公開講座 「脳とこころ」を未来へ繋ぐ 司会：中島 健二、松嶋 永治 1. 不昧公：その茶とこころ 講師：藤間 寛 2. 脳はいつでも今が旬：脳とこころの姿 講師：湯浅 龍彦 3. アルツハイマー型認知症の新薬開発に 携わって、そして未来へ 講師：杉本 八郎 共催：松江市、松江市医師会 協賛：日清オイリオグループ株式会社				
14:00					
15:00					
16:00					
17:00					

# プログラム

## 特別講演

### 特別講演 1

10月6日(土) 10:40～11:40 第1会場(テルサホール A・B)

座長：志村 孚城(株式会社創生)

#### 高齢者の認知機能低下と運転能力

目黒 謙一(東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学)

### 特別講演 2

10月6日(土) 10:40～11:40 第2会場(大会議室)

座長：奥山 恵理子(浜松人間科学研究所)

#### 認知症高齢者との対話法 ～バリデーションの理論と実際

都村 尚子(関西福祉科学大学)

### 特別講演 3

10月6日(土) 14:20～15:20 第1会場(テルサホール A・B)

座長：神野 麻弥子(国立病院機構高知病院)

#### 認知症予防としての栄養を科学する

高島 英昭(長崎大学病院 リハビリテーション部)

### 特別講演 4

10月6日(土) 14:20～15:20 第2会場(大会議室)

座長：大杉 紘徳(城西国際大学福祉総合学部 理学療法学科)

合田 明生(京都橘大学健康科学部 理学療法学科)

#### 認知症予防としての運動を科学する

牧迫 飛雄馬(鹿児島大学医学部 保健学科理学療法学専攻 基礎理学療法学講座)

## 特別講演5

10月7日回 9:00～10:00 第2会場(大会議室)

座長：松嶋 永治(まつしま脳神経内科クリニック)

### 嗜銀顆粒性認知症と神経原線維変化型老年期認知症

足立 正(鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経内科分野)

## 特別講演6

10月7日回 10:10～11:10 第2会場(大会議室)

座長：中島 健二(松江医療センター)

### 鳥根県海士町における認知症疫学調査

和田 健二(鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経内科学分野)

## シンポジウム

### シンポジウム1

10月6日(土) 9:00～10:30 第1会場(テルサホールA・B)

座長：古和 久典(松江医療センター)  
イントロ：松嶋 永治(まつしま脳神経内科クリニック)

#### [ 松江市における認知症の包括的ケア ]

湯浅 佳代(松江市社会福祉協議会)  
河野 美波子(ゆめ福居宅介護支援事業所)  
高橋 京子(株式会社花みずきナースステーション)  
松嶋 永治(まつしま脳神経内科クリニック)

### シンポジウム2

10月6日(土) 15:30～17:00 第1会場(テルサホールA・B)

座長：宮島 裕明(浜松医科大学)  
中島 健二(松江医療センター)

#### [ エビデンスに基づいた脳の診かた ]

##### S2-1 認知症の早期診断 一概説

中島 健二  
独立行政法人国立病院機構 松江医療センター

##### S2-2 認知症診療における神経心理学的検査の役割

深田 育代  
国立病院機構 松江医療センター 神経内科

##### S2-3 見えない異常をつかまえて！ —Cather in the early stage—

島田 齊  
量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部

##### S2-4 認知症の診断 そしてその後の支援

高田 照男  
南部町国民健康保険西伯病院

[ エビデンスに基づいた脳の鍛え方 ]

**S3-1** 脳は鍛えられるのか？

松田 雅弘  
城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科

**S3-2** 認知症者に対するリハビリテーションアプローチ

大杉 紘徳  
城西国際大学 福祉総合学部理学療法学科

**S3-3** 地域在住高齢者に対する匂いを使った回想法の有効性と認知症予防の観点から課題

梅本 充子  
日本福祉大学 看護学部 老年看護学 教授

**S3-4** 美容福祉のケアを効果的に提供するために  
—美容ケア構成要因を生理的手法で分析する意義—

大西 典子  
山野美容芸術短期大学 美容総合学科 教授

## ランチョンセミナー

### ランチョンセミナー1

10月6日(日) 12:00～13:00 第1会場(テルサホールA・B)

座長：湯浅 龍彦(鎌ヶ谷総合病院)

#### 認知症と遺伝子の関係：ゲノム医療への展望

池内 健(新潟大学 脳研究所 生命科学リソース研究センター)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

### ランチョンセミナー2

10月6日(日) 12:00～13:00 第2会場(大会議室)

座長：犬塚 貴(岐阜市民病院 認知症疾患医療センター)

#### アルツハイマー病の発症機構と陳皮の臨床応用 ～ AD の発症・進展にミエリン損傷が関与する可能性～

工藤 千秋(くどうちあき脳神経外科クリニック)

共催：クラシエ製薬株式会社

### ランチョンセミナー3

10月7日(月) 11:30～12:30 第2会場(大会議室)

座長：石川 厚(石川脳神経内科医院)

#### ホットトピックをつまみ食い！ パーキンソン病関連疾患と認知症

島田 斉(量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部)

共催：大塚製薬株式会社

## 公開セミナー

### 第一部：市民公開セミナー

10月7日回 10:00～12:00 (テルサホール A・B・C /アトリウムチャラ)

#### さあ出かけようテルサへ ～知る、測る・試す、相談する～

テルサホール A・B：

ビデオ鑑賞会(日本早期認知症学会) など

テルサホール C：

医療相談会(松江医師会、松江医療センター)

認知機能検査測定会(日本早期認知症学会)

アトリウムチャラ：

ロボットスーツ (HaL) 体験(CYBERDYNE)

アニメ「ギャートルズ」の展示会(山下プランニング・ルーム)

茶会(松江市) など

共催：松江市、松江市医師会

### 第二部：市民公開講座

10月7日回 13:00～15:10 第1会場(テルサホール A・B)

司会：中島 健二(松江医療センター)

松嶋 永治(まつしま脳神経内科クリニック)

#### 「脳とこころ」を未来へ繋ぐ

##### 1 不昧公：その茶とこころ

藤間 寛

島根県立美術館学芸専門官、松江歴史館学芸専門監

##### 2 脳はいつでも今が旬：脳とこころの姿

湯浅 龍彦

鎌ヶ谷総合病院 神経難病医療センター・センター長

##### 3 アルツハイマー型認知症の新薬開発に携わって、そして未来へ

杉本 八郎

同志社大学生命医科学研究科 客員教授

共催：松江市、松江市医師会

協賛：日清オイリオグループ株式会社

**P-01** 国際生活機能分類 (ICF : International Classification of Functioning, Disability and Health) を用いた認知症初期症状の出現様式および頻度の検討

○中俣 恵美<sup>1)</sup>、岡本 加奈子<sup>1)</sup>、出田 めぐみ<sup>2)</sup>、西井 正樹<sup>2)</sup>

1) 関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、  
2) 白鳳短期大学 総合人間学科 リハビリテーション学専攻 作業療法学課程

**P-02** 早期認知症診療に有用な新しいBPSDスコア(阿部式BPSDスコア=ABS)の開発と評価者間信頼性

○阿部 康二、山下 徹、太田 康之、菱川 望、佐藤 恒太、武本 麻美、商 敬偉

岡山大学医学部 脳神経内科

**P-03** 日常的な香りを用いた認知機能簡易評価法の検討

○岡村 祐一<sup>1)</sup>、矢田 幸博<sup>2)</sup>、嶋田 純也<sup>2)</sup>、廣川 聖子<sup>3)</sup>、橋本 正嗣<sup>4)</sup>、津田 彰<sup>5)</sup>

1) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻、2) 筑波大学大学院グローバル教育院、  
3) 岡山県立大学大学院 保健福祉学研究科、4) 久留米大学大学院 心理学研究科、  
5) 久留米大学文学部 心理学科

**P-04** MCIの感情状態がもたらす作動記憶課題への影響  
—アパシー状態評価の検討—

○石川 健二<sup>1)</sup>、高橋 泰子<sup>1)</sup>、山口 三千夫<sup>2)</sup>

1) 大阪河崎リハビリテーション大学、2) 山口クリニック

**P-05** Aβクリアランスに関わるタンパク質のMCI血液バイオマーカーとして臨床有効性について

○鈴木 秀昭<sup>1)</sup>、劉 珊<sup>1)</sup>、伊藤 ひとみ<sup>1)</sup>、是永 龍巳<sup>1)</sup>、目野 浩二<sup>1)</sup>、内田 和彦<sup>2)</sup>

1) 株式会社MCBI 研究開発部、2) 筑波大学 医学医療系

**P-06** 超早期例の進行性核上性麻痺：臨床画像診断とフローチャート

○大宮 貴明<sup>1)2)</sup>、竹内 優<sup>1)</sup>、湯浅 龍彦<sup>1)</sup>

1) 鎌ヶ谷総合病院 千葉神経難病医療センター・難病脳内科、  
2) カイロス・アンド・カンパニー株式会社 ファミリー・ホスピス事業部

**P-07** パーキンソン病患者の嗅覚低下は認知機能障害を反映する

○金井 光康<sup>1)</sup>、渡部 さやか<sup>2)</sup>

1) 高崎総合医療センター 神経内科、2) 高崎総合医療センター 心理療法士

**P-08** 急性期総合病院の認知症ケアチーム介入事例における身体拘束減少に向けた取り組み

○長屋 千鶴子<sup>1)</sup>、村瀬 智明、神戸 誠、白井 みずほ、里見 和夫、犬塚 貴  
岐阜市民病院 認知症疾患医療センター

**P-09** 急性期総合病院の認知症疾患医療センターにおける、専門職による医療・福祉相談の実態

○村瀬 智明、長屋 千鶴子、神戸 誠、白井 みずほ、渡辺 繭子、里見 和夫、犬塚 貴  
岐阜市民病院 認知症疾患医療センター

**P-10** 急性期病棟における認知症高齢者日常生活自立度判定Ⅰ・Ⅱの患者に対する早期介入の有効性の評価 ～生活リズムケア介入シートを用いて～

○木之瀬 晴香  
独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター 東5階病棟

**P-11** 急性期病院におけるデイケア

○山崎 直美、松野 美恵  
医療法人 社団篠原会 甲府脳神経外科病院

**P-12** 地域における糖尿病 / 物忘れ教室のまとめと意義

○吉村 俊二<sup>1)</sup>、足立 克仁<sup>2)</sup>、福池 映二<sup>1)</sup>、小川 哲也<sup>3)</sup>、小川 裕子<sup>3)</sup>、上田 圭介<sup>3)</sup>、  
山野 利尚<sup>3)</sup>、湯浅 龍彦<sup>4)</sup>  
1)医療法人緑会 小川病院 リハビリテーション部、2)医療法人緑会 小川病院 神経内科、  
3)医療法人緑会 小川病院 内科、  
4)社会医療法人社団木下会 鎌ヶ谷総合病院 神経内科・神経難病医療センター

**P-13** 認知症予防を目的としたふれあい健康サロンの役割の変遷

○菅野 真紀<sup>1)2)</sup>、奥山 恵理子<sup>1)2)</sup>、塩見 美奈子<sup>1)2)</sup>、中島 盛雄<sup>3)</sup>、河合 勇太郎<sup>3)</sup>、  
高柳 佳世子<sup>2)3)</sup>、志村 孚城<sup>2)4)</sup>  
1)株式会社 浜松人間科学研究所、2)NPO 法人地域創生事業団、3)株式会社 創生、  
4)株式会社 創生 生体医工学研究所

**P-14** 長崎県島原市における通所型介護予防事業 ～2.5次予防教室への関わり～

○平川 樹、大石 賢、内田 由美子  
医療法人社団東洋会 池田病院

**P-15** 認知症カフェが直面する問題

○志村 孚城<sup>1)</sup>、高柳 佳世子<sup>3)</sup>、奥山 恵理子<sup>2)</sup>、菅野 真紀<sup>2)</sup>、伊藤 洋二<sup>4)</sup>、水野 修治<sup>5)</sup>、  
塩見 美奈子<sup>2)</sup>、石川 由貴子<sup>3)</sup>  
1)創生 生体工学研究所、2)浜松人間科学研究所、3)創生 事業本部、4)創生 入野倶楽部、  
5)創生 富塚倶楽部

- P-16** 新総合事業対象者のための「いきいきデイサービス」開設とその意義  
 ○高柳 佳世子<sup>1)</sup>、高見 位知子<sup>1)</sup>、奥山 太山<sup>1)</sup>、宮下 聖依<sup>1)</sup>、山下 光代<sup>1)</sup>、河合 勇太郎<sup>1)</sup>、奥山 恵理子<sup>2)</sup>、菅野 真紀<sup>2)</sup>、志村 孚城<sup>3)</sup>  
 1) 株式会社創生 佐鳴台倶楽部、2) 株式会社浜松人間科学研究所、3) 株式会社創生 生体医工学研究所
- P-17** NU-Med 電子@連絡帳を活用した認知症に対する多職種連携  
 ○福井 一裕<sup>1)</sup>、山内 智之<sup>2)</sup>、国見 英敏<sup>3)</sup>  
 1) 福井脳神経外科、2) 田代ひ尿器科、3) 第2国見医院
- P-18** 静岡県若年性認知症の方の居場所づくりモデル事業の実施結果とその課題  
 ○奥山 恵理子<sup>1)2)</sup>、高柳 佳世子<sup>1)3)</sup>、菅野 真紀<sup>1)2)</sup>、水野 修二<sup>3)</sup>、志村 孚城<sup>1)4)</sup>  
 1) NPO 法人地域創生支援事業団、2) 株式会社 浜松人間科学研究所、3) 株式会社 創生、4) 株式会社 創生 生体医工学研究所
- P-19** 訪問看護師への認知症看護に対する介入  
 一事例検討会が訪問看護師に与える影響—  
 ○東 佐恵子<sup>1)</sup>、鈴木 弥生<sup>2)</sup>、名賀石 志保<sup>3)</sup>、荒井 圭二<sup>1)</sup>  
 1) 岐阜県厚生農業協同組合連合会 揖斐厚生病院、2) 大垣市民病院、3) 医療法人 恒仁会 近江温泉病院
- P-20** 増加するもの忘れ外来受診希望者の受診スケジュール化がもたらした  
 専門外来受診までの日数短縮の効果  
 ○阿部 美江子、高橋 歌彩、赤松 明日香、浄土 紀子、山崎 雅勇  
 協立すこやかクリニック

**ポスター発表2 [事例検討]**

10月6日 14:20～15:50 ポスター会場(テルサホールC)

- P-21** 進行性非流暢性失語症(PNFA)の早期症例と思われる早期認知機能障害(MCI)の1例  
 ○山崎 雅勇  
 道東勤労者医療協会 協立すこやかクリニック
- P-22** 肝性脳症により認知機能低下、意識障害をきたした一例  
 ○森嶋 悠人、諏訪 裕美、栗田 尚史、佐竹 紅音、佐藤 統子、名取 高広、土屋 舞、羽田 貴礼、一瀬 佑太、高 紀信  
 山梨大学 医学部 神経内科学講座
- P-23** レビイ小体型認知症における幻視の考察  
 一 大脳脚幻覚症とレビイ小体型認知症との幻視の比較を通じて—  
 ○水原 哲生  
 水原診療所
- P-24** ラクナ梗塞後に多発する脳内出血を来したアミロイドアンギオパチーの一部検例  
 ○柳田 恵理子<sup>1)</sup>、高下 純平<sup>2)</sup>、加藤 誠也<sup>3)</sup>、山田 猛<sup>2)</sup>、杉田 保雄<sup>1)</sup>  
 1) 久留米大学 医学部 病理学講座、2) 済生会福岡総合病院 神経内科 脳・血管内科、3) 同 病理診断科

- P-25** 認知症者の歩行中方向転換動作における姿勢制御に関する基礎的研究  
○星 文彦<sup>1)</sup>、中村 高仁<sup>2)</sup>、菊本 東陽<sup>1)</sup>、武田 尊徳<sup>3)</sup>、大沼 亮<sup>4)</sup>、古川 美盛<sup>5)</sup>  
1) 埼玉県立大学 保健医療福祉学部、2) 天草リハビリテーション病院、3) 上尾中央総合病院、  
4) 介護老人保健施設ケアタウンゆうゆう、5) 中垣病院
- P-26** 認知症を持つ高齢者の咬合力と身体機能等との関連について  
○平尾 文<sup>1)</sup>、平岩 和美<sup>1)</sup>、谷川 良博<sup>1)</sup>、笹谷 奈緒美<sup>2)</sup>、中村 萌子<sup>2)</sup>、隴本 躍子<sup>2)</sup>、  
寫田 恵里<sup>2)</sup>、田中 玲子<sup>2)</sup>、迫井 瑞樹<sup>2)</sup>、山口 奈緒<sup>2)</sup>  
1) 広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科、  
2) 医療法人ピーアイエーナカムラ病院 介護老人保健施設まいえ
- P-27** 認知機能低下が疑われた高齢者における快感情が運動意欲に与える影響  
—わくわく感情とリラックス感情での比較—  
○久原 望未<sup>1)</sup>、金原 一宏<sup>2)</sup>、佐久間 俊輔<sup>3)</sup>、葛谷 憲彦<sup>1)</sup>  
1) 学校法人 常葉大学 常葉大学リハビリテーション病院、2) 学校法人聖隷学園 聖隷クリストファー大学、  
3) 寺田痛みのクリニック
- P-28** 認知症高齢者の心身機能相互の関連性に関する研究  
—認知機能、ADL、身体組成、腹囲、下腿周径と足趾筋力の関連性を中心として—  
○平岩 和美<sup>1)</sup>、平尾 文<sup>1)</sup>、谷川 良博<sup>1)</sup>、中村 萌子<sup>2)</sup>、隴本 躍子<sup>2)</sup>、寫田 恵里<sup>2)</sup>、  
田中 玲子<sup>2)</sup>、迫井 瑞樹<sup>2)</sup>、笹谷 奈緒美<sup>2)</sup>  
1) 広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科、  
2) 医療法人ピーアイエーナカムラ病院、介護老人保健施設まいえ
- P-29** 高齢者における認知機能と手指機能との関連  
—MMSE 高値群と低値群による検討—  
○仲田 奈生<sup>1)</sup>、松浦 晃宏<sup>1)</sup>、中祖 直之<sup>1)</sup>、萩野 浩<sup>2)</sup>  
1) 医療法人社団昌平会 大山リハビリテーション病院、2) 鳥取大学医学部 保健学科
- P-30** 認知症ケアラウンド対象者におけるコミュニケーション評価の重要性  
○前田 順子、瀬川 愛、宮元 亜希子、清塚 鉄人、岡田 尚子、浅川 真由美  
国家公務員共済組合連合会 三宿病院
- P-31** 色による視覚刺激が認知症患者の表現・感情に与える影響  
○渡邊 祐里<sup>1)</sup>、金原 一宏<sup>2)</sup>、田中 真希<sup>2)</sup>、佐久間 俊輔<sup>2)3)</sup>、志村 孚城<sup>4)</sup>  
1) 医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院、2) 聖隷クリストファー大学、  
3) 寺田痛みのクリニック、4) 株式会社 創生
- P-32** 療養型病院におけるリハビリテーション介入の効果と認知機能との関係  
○土屋 亮<sup>1)</sup>、石川 響<sup>2)</sup>、矢倉 千昭<sup>3)</sup>  
1) 袋井みつかわ病院 リハビリテーション科、2) コミュニティホスピタル甲賀病院 リハビリテーション科、  
3) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 理学療法学科
- P-33** 認知症高齢者の睡眠改善への非薬物的介入に関する文献検討  
○武田 藍<sup>1)2)</sup>、永山 聡美<sup>3)</sup>、綿貫 恵美子<sup>4)</sup>、小山 幸代<sup>4)</sup>  
1) 駒沢女子大学 看護学部 看護学科、2) 北里大学大学院 看護学研究科 博士課程、  
3) 北里大学大学院 看護学研究科 修士課程、4) 北里大学 看護学部 看護学科

**P-34** VSRADによる海馬傍回萎縮度と記憶検査成績の関係の検討

○神戸 誠、里見 和夫  
岐阜市民病院

**P-35** アルツハイマー型認知症発症時期に関する家族の認識はどのくらい遡れるか

○犬塚 貴<sup>1)</sup>、里見 和夫<sup>1)</sup>、香村 彰宏<sup>2)</sup>、村上 宗玄<sup>2)</sup>、田中 優司<sup>3)</sup>、山田 恵<sup>4)</sup>、  
長屋 千鶴子<sup>1)</sup>、村瀬 智明<sup>1)</sup>、神戸 誠<sup>1)</sup>、白井 みずほ<sup>1)</sup>  
1)岐阜市民病院 認知症疾患医療センター、2)岐阜市民病院 神経内科、3)愛知教育大学、  
4)岐阜大学 神経内科・老年学分野

**P-36** 脳トレーニングソフト脳ポチを利用した認知機能評価

○正分 ゆい  
株式会社 ソフトアップJ

**P-37** MMSE と HDS-R の3単語を活用した超遅延再生の有効性の検討

○錦織 翼<sup>1)</sup>、佐野 ひかり<sup>1)</sup>、光戸 利奈<sup>1)2)</sup>、橋本 優花里<sup>3)</sup>、岩本 竜一<sup>1)</sup>、辰川 匡史<sup>1)</sup>  
1)医療法人辰川会 山陽病院、2)広島大学、3)長崎県立大学

**P-38** アルツハイマー型認知症患者の嚥下障害とアルツハイマー病治療薬の効果

○佐藤 克也  
長崎大学医歯薬学総合研究科 運動障害リハビリテーション分野(神経内科学)

**P-39** 地域在住高齢者の自動車運転：1. 生活に関する実態調査

○熊居 慶一<sup>1)2)3)4)</sup>、内柴 佑基<sup>1)2)</sup>、小林 順敏<sup>1)</sup>、大沼 二郎<sup>1)2)</sup>、山口 智<sup>1)2)</sup>、  
山邊 茂之<sup>4)</sup>、松木 英敏<sup>4)</sup>、中塚 晶博<sup>1)3)</sup>、目黒 謙一<sup>1)2)3)4)</sup>  
1)東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学、2)大崎市民病院田尻診療所、3)みやぎ健診プラザ、  
4)東北大学 未来科学技術共同研究センター(NICHe)

**P-40** 地域在住高齢者の自動車運転：2. リスク予想情景画課題の作成

○大沼 二郎<sup>1)2)3)</sup>、内柴 佑基<sup>1)2)</sup>、熊居 慶一<sup>1)2)</sup>、黒木 悟郎<sup>1)3)</sup>、山口 智<sup>1)2)</sup>、  
山邊 茂之<sup>4)</sup>、松木 英敏<sup>4)</sup>、中塚 晶博<sup>1)3)</sup>、目黒 謙一<sup>1)2)3)4)</sup>  
1)東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学、2)大崎市民病院田尻診療所、3)みやぎ健診プラザ、  
4)東北大学 未来科学技術共同研究センター(NICHe)

**P-41** 地域在住高齢者の自動車運転：3. ペダル操作課題の作成

○内柴 佑基<sup>1)2)</sup>、大沼 二郎<sup>1)2)3)</sup>、熊居 慶一<sup>1)2)</sup>、黒木 悟郎<sup>1)3)</sup>、山口 智<sup>1)2)</sup>、  
山邊 茂之<sup>4)</sup>、松木 英敏<sup>4)</sup>、中塚 晶博<sup>1)3)</sup>、目黒 謙一<sup>1)2)3)4)</sup>  
1)東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学、2)大崎市民病院田尻診療所、3)みやぎ健診プラザ、  
4)東北大学 未来科学技術共同研究センター(NICHe)

**P-42** 自動車運転免許証更新等において「認知症のおそれあり」と判定を受けた高齢者への認知機能検査について

○福光 涼子<sup>1)</sup>、大谷 亮広<sup>2)</sup>、岡 恵子<sup>2)</sup>、井川 結香<sup>2)</sup>、今井 美穂<sup>2)</sup>、吉岡 諒<sup>2)</sup>、松本 裕美<sup>2)</sup>、石田 光代<sup>3)</sup>、中原 昌子<sup>4)</sup>、島 治伸<sup>5)</sup>

1)伊月病院 神経内科、2)伊月病院 リハビリテーション部、3)伊月病院 医療情報部、4)徳島文理大学、5)徳島文理大学 保健福祉学部、6)徳島大学病院 神経内科

**ポスター発表1** [ 臨床脳電位学会 ]

10月6日 10:30~12:00 ポスター会場(テルサホールC)

臨床脳電位学会との共催論文

**P-43** 3電極脳電位からの3重相関値を用いたアルツハイマー病解析

○渡邊 ゆり<sup>1)2)</sup>、小林 洋平<sup>2)</sup>、田中 美枝子<sup>2)</sup>、朝田 隆<sup>3)</sup>、石井 賢二<sup>4)</sup>、八木 透<sup>1)</sup>

1)東京工業大学 工学院 機械系 ライフエンジニアリングコース、2)株式会社脳機能研究所、3)東京医科歯科大学、4)東京都健康長寿医療センター研究所

**P-44** 認知症等の精神神経疾患における脳波特徴可視化の可能性について

○百瀬 公久<sup>1)</sup>、田中 美枝子<sup>2)</sup>、小林 洋平<sup>2)</sup>、石井 賢二<sup>3)</sup>、涌谷 陽介<sup>4)</sup>、高尾 芳樹<sup>4)</sup>

1)株式会社NTTデータ・アイ、2)株式会社脳機能研究所、3)東京都健康長寿医療センター、4)社会医療法人全仁会 倉敷平成病院

**ポスター発表2** [ BME ]

10月6日 14:20~15:50 ポスター会場(テルサホールC)

**P-45** リハビリテーションの現場におけるコミュニケーションロボットの導入  
～セラピストによる事前評価～

○合田 明生<sup>1)</sup>、志村 孚城<sup>2)</sup>

1)京都橘大学 健康科学部 理学療法学科、2)株式会社創生 生体工学研究所

**P-46** 機械学習を用いた認知症診断テスト採点の自動化

○浅川 毅

東海大学 情報理工学部 コンピュータ応用工学科

**P-47** 軽度認知症患者を薬局からつなぐ

～保険薬局における新たな機能検証：クオール薬局におけるTOP-Qプロジェクト～

○斉藤 清一

クオール株式会社 クオールアカデミー・教育研修部

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 25 lines spaced evenly down the page.

# 特別講演

## 1 高齢者の認知機能低下と運転能力

座長：志村 孚城(株式会社創生)

演者：目黒 謙一(東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学)

## 2 認知症高齢者との対話法 ～バリデーシヨンの理論と実際

座長：奥山 恵理子(浜松人間科学研究所)

演者：都村 尚子(関西福祉科学大学)

## 3 認知症予防としての栄養を科学する

座長：神野 麻弥子(国立病院機構高知病院)

演者：高島 英昭(長崎大学病院 リハビリテーション部)

## 4 認知症予防としての運動を科学する

座長：大杉 紘徳(城西国際大学福祉総合学部 理学療法学科)

合田 明生(京都橘大学健康科学部 理学療法学科)

演者：牧迫 飛雄馬(鹿児島大学医学部 保健学科理学療法学専攻 基礎理学療法学講座)

## 5 嗜銀顆粒性認知症と 神経原線維変化型老年期認知症

座長：松嶋 永治(まつしま脳神経内科クリニック)

演者：足立 正(鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経内科分野)

## 6 島根県海士町における認知症疫学調査

座長：中島 健二(松江医療センター)

演者：和田 健二(鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経内科学分野)

# 高齢者の認知機能低下と運転能力

目黒 謙一

東北大学 CYRIC 高齢者高次脳医学 教授

### 主テーマ

「脳科学に基づく地域における認知症対策」を1988年より一貫して追求。

### 略歴

1985年 東北大学医学部卒業  
1989年 東北大学大学院医学研究科 修了(医学博士)  
1995年 東北大学高次機能障害学 助手(恩師:山鳥重教授)  
2005年より  
東北大学高齢者高次脳医学 教授(設置部局は2005年～2013年医学系研究科、2014年～CYRIC(サイリック))教育担当主任も兼務し、過去32人の学位論文を指導。

### 留学先

フランス・CYCERON(シセロン)PETセンター:アルツハイマー病画像の研究(Baron 教授)  
米国セントルイス・ワシントン大学アルツハイマー病センター:CDR 判定医(Morris 教授)  
ブラジル・サンパウロ大学医学部神経内科:日本人移民の調査(Nitrini 教授)

### 兼務

東北福祉大学および台湾の輔仁(フジン)大学の客員教授。  
田尻スキップセンター所長  
宮城県大崎・登米・栗原市・涌谷町認知症対策副委員長を歴任(委員長は首長)。

### 受賞

老年学会優秀賞・国際老年精神医学会(IPA)優秀賞認知症ケア学会石崎賞・読売認知症ケア賞

### 学会専門医

日本内科学会認定医、日本神経学会・老年精神医学会・認知症学会専門医兼指導医脳卒中学会専門医・ワシントン大学 CDR 判定医

### 学会役員

国際神経精神医学会(INA)理事・  
アジア認知症学会(ASAD)理事  
日本台湾認知症協会(JTSD)日本側代表  
日本神経心理学会・高次脳機能障害学会・老年精神医学会・  
認知神経科学会・認知症学会・認知症ケア学会の評議員

### 業績

著書は「認知症医療学」「血管性認知症」「ブラジル在住高齢者移民」「CDR 判定ハンドブック」など和洋書籍14冊、英文原著論文160報。

### 特許

国内特許:「認知症の程度を判定するための方法、システム及びプログラム」

周知の通り、道交法の改訂により75歳以上高齢者が一定の違反行為時もしくは免許更新時に「認知機能検査」を施行し、第1分類と判定された場合、臨時適性検査もしくは診断書提出が義務づけられた。診断書記載ガイドラインには、認知症の原因疾患、境界領域の可能性、臨床的認知症尺度(CDR)、認知機能障害の状態を記憶・見当識・失語・失行・視空間認知・遂行機能に関して記載することが求められているが、これは専門医水準である。

本講演ではCDRの基本的判定方法と認知症の原因疾患別特徴を述べ、運転機能に関連する神経心理学的基礎について概説する。その後、当研究室のフィールド調査の結果得られた、運転を含む社会生活上の移動の問題、特に代替交通手段の乏しい地方の実情が窺われる事例を提示する。さらに当研究室で施行した運転に関する予備的実験の結果について述べ、今後の課題について提起する。

# 一般演題

## P-01

### 国際生活機能分類 (ICF : International Classification of Functioning, Disability and Health) を用いた認知症初期症状の出現様式および頻度の検討

○中俣 恵美(なかまた えみ)<sup>1)</sup>、岡本 加奈子<sup>1)</sup>、  
出田 めぐみ<sup>2)</sup>、西井 正樹<sup>2)</sup>

1) 関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科  
理学療法専攻、

2) 白鳳短期大学 総合人間学科 リハビリテーション学専攻  
作業療法課程

【はじめに】 認知症の早期発見と予防の確立は急務な課題である。近年、血液検査など生化学的レベルでの Mild Cognitive Impairment (以下 : MCI) リスクの予測が可能など、スクリーニングには様々なものが使用されている。しかし精神的・身体的負担が大きいなどの課題に加え、いずれも専門家による実施と判断が必須となる。つまり本人もしくは家族の自発的な行動が必要となる。

そこで本研究では、初期症状が生活の中で困り事、不安感、違和感として出現するという仮説のもと、インタビューや体験談より MCI 段階での生活機能障害の出現様式や頻度について検討したので報告する。

【方法】 ①計5回開催した「認知症カフェ」に参加した地域在住高齢者10名のうち MMSE 得点27-24点であった4名のインタビューおよび②認知症患者とその家族による体験記(著書7冊)より、生活の中での困り事、不安感、違和感をピックアップし逐語録を作成。③逐語録を ICF の項目に従い分類した。

いずれも研究者4名で数回にわたり分類過程や分類結果の妥当性の検討を行った。

【結果】 ピックアップされたワードは179個。そのうち ICF コード b(心身機能)にあたるワードが67個(37.4%)、d(活動と参加)は109個(60.8%)であった。dコードのうち第1レベル分類ではセルフケア、運動・移動、対人関係が、bコードでは情動機能、見当識、記憶に関する内容が多かった。

【考察】 本人もしくは家族が感じる初期症状としては、d 活動・参加レベルでの出現が圧倒的に多く、我々の仮説を支持する結果となった。セルフケア関連以外に様々な場所への移動や交通機関の利用などの支障が特徴的にみられた。また心身機能レベルの結果は、従来のスクリーニングテストに用いられる記憶や見当識などと一致する結果となった。このことより、今回明らかとなった出現様式や出現率を参考にチェックリストを作成することで一次的スクリーニングとなりうる可能性があると考えられる。

## P-02

### 早期認知症診療に有用な新しい BPSD スコア (阿部式 BPSD スコア = ABS) の開発と評価者間信頼性

○阿部 康二(あべ こうじ)、山下 徹、太田 康之、  
菱川 望、佐藤 恒太、武本 麻美、商 敬偉  
岡山大学医学部 脳神経内科

岡山大学認知症専門外来での病型頻度では、1,554例中アルツハイマー病 (Alzheimer's disease : AD) が62%と1位であり、次いで軽度認知機能障害 (MCI) 12%、血管性認知症 (VD) 9%、パーキンソン認知症 (PDD) とレビー小体型認知症 (DLB) が各3%、前頭側頭葉型認知症 (FTD) 3%となっており、超高齢化に伴って認知症全体に占める AD 患者の割合も急増している。

認知症の早期診断においては知的低下症状だけではなく、妄想、幻覚、暴力、暴言、易怒性、興奮、うつ、不安、徘徊といった行動心理症状 (behavioral and psychological symptoms of dementia : BPSD) の診断と具体的症状把握が重要である。そこで多忙な認知症診療業務の中で比較的簡易に BPSD を診断・把握できる簡易なスコアを開発した。

認知症家族会へのアンケート調査の結果をもとに、BPSD の頻度と介護困難重症度を座標軸として各々項目をプロットし0-9点まで配点し、予め頻度と重症度で重み付けした簡易 BPSD スコアとした。主介護者と従介護者の同時評点は、ほぼ一致したが ( $R=0.964$ ,  $**p < 0.01$ )、両者の関係は  $y=0.877x$  とやや主介護者で重めの評価であることも明らかとなった。

超高齢化日本社会から得られたデータを元に、頻度と重症度に応じて予め重み付けを付けた新しい BPSD スコア (ABS) を作成した。この ABS を用いることで、多忙な認知症診療業務の中で比較的簡易に BPSD スコアを得ることができ、早期診断や治療、ケアなどの臨床应用到に役立つ可能性が示された。評価者間のばらつきも少なく、信頼性のある新しい BPSD 尺度になりうることが判明した。

## 第20回日本早期認知症学会学術大会のご案内

会 期：2019年10月20日(日)

#今回から会期は1日のみにになりました。

会 場：じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)

(<http://plaza-gifu.jp/>)

〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-11 TEL：058-262-0150(代)

※ JR 岐阜駅直結(中央改札から徒歩2分)

※新幹線は東西とも名古屋で東海道線に乗換、JR 名古屋～岐阜は快速18分

※中部国際空港から名鉄電車で名鉄岐阜まで最速56分、会場まで徒歩5分

テーマ：「多職種で挑む認知症の早期診断・治療・ケアと予防」

大会長：犬塚 貴

(岐阜市民病院 認知症疾患医療センター長／岐阜大学 名誉教授)

## 日本早期認知症学会 役員一覧

(五十音順)

理事長	宮嶋 裕明	浜松医科大学内科学第一講座
副理事長	犬塚 貴	岐阜市民病院認知症疾患医療センター
	湯浅 龍彦	社会医療法人社団木下会鎌ヶ谷総合病院千葉神経難病医療センター・ 難病脳内科
理事	浅川 毅	東海大学情報理工学部コンピュータ応用工学科
	石垣 泰則	コーラルクリニック
	和泉 唯信	徳島大学病院神経内科
	大城 昌平	聖隷クリストファー大学・大学院リハビリテーション科学研究科
	大島 扶美	医療法人社団悠愛会大島医院
	大城 一	医療法人社団大法会遠江病院
	大野ゆう子	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
	岡本 典雄	岡本クリニック
	奥山恵理子	株式会社浜松人間科学研究所
	長田 久雄	桜美林大学大学院老年学研究科
	金森 雅夫	立命館大学スポーツ健康科学部
	工藤 千秋	医療法人社団くどうちあき脳神経外科クリニック
	小林 清市	医療法人暁清会小林脳神経外科
	小山 幸代	北里大学看護学部
	重森 健太	関西福祉科学大学保健医療学部
	篠原 豊明	医療法人篠原会甲府脳神経外科病院
	鈴木みずえ	浜松医科大学医学部看護学科
	瀧山 嘉久	山梨大学大学院総合研究部医学域神経内科学講座
	田平 武	順天堂大学大学院
	中島 健二	(独)国立病院機構松江医療センター
	中村 博彦	社会医療法人医仁会中村記念病院
	山崎 雅勇	道東勤労者医療協会協立すこやかクリニック
	山下 和彦	大阪大学大学院医学系研究科バイオデザイン学共同研究講座
監事	坂井 光蔵	坂井モーター株式会社
	廣川 知志	公益財団法人下中記念財団

## 日本早期認知症学会誌編集委員会

(五十音順)

委員長	工藤 千秋	副委員長	金森 雅夫, 小山 幸代
委員	浅川 毅, 井上 剛伸, 大杉 紘徳, 大野ゆう子, 奥山恵理子, 片井美菜子, 木戸 倫子, 酒谷 薫, 鈴木みずえ, 瀧山 嘉久, 松寄 勝, 宮嶋 裕明		

## 日本早期認知症学会誌 *Journal of Japan Society for Early Stage of Dementia*

Vol.11, No.3

2018年8月31日発行

**発行** 日本早期認知症学会  
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル  
(株) ワールドプランニング内  
Tel : 03-5206-7431 Fax : 03-5206-7757  
E-mail : jsed@zfhv.ftbb.net <http://www.jsed.jp/>

**発売元** 株式会社ワールドプランニング  
Tel : 03-5206-7431 Fax : 03-5206-7757  
E-mail : world@med.email.ne.jp  
<http://www.worldpl.com>  
振替口座 00150-7-535934

定価(本体価格 2,000 円+税)

※本誌内容の無断複写・転載は著作権法上で禁じられています。本誌に掲載された著作物の複製・翻訳・上映・譲渡・公衆送信(データベースへの取込および送信可能化権を含む)に関する許諾権は、日本早期認知症学会が保有しています。

## 一般演題筆頭演者 索引

<b>あ</b>			<b>さ</b>			<b>ふ</b>		
浅川 毅	P-46	78	斉藤 清一	P-47	79	福井 一裕	P-17	62
阿部 康二	P-02	54	佐藤 克也	P-38	74	福光 涼子	P-42	76
阿部 美江子	P-20	64						
<b>い</b>			<b>し</b>			<b>ほ</b>		
石川 健二	P-04	55	志村 孚城	P-15	61	星 文彦	P-25	67
犬塚 貴	P-35	72	正分 ゆい	P-36	73			
<b>う</b>			<b>す</b>			<b>ま</b>		
内柴 佑基	P-41	76	鈴木 秀昭	P-05	56	前田 順子	P-30	69
<b>お</b>			<b>た</b>			<b>み</b>		
大沼 二郎	P-40	75	高柳 佳世子	P-16	62	水原 哲生	P-23	66
大宮 貴明	P-06	56	武田 藍	P-33	71			
岡村 祐一	P-03	55						
奥山 恵理子	P-18	63	<b>つ</b>			<b>む</b>		
			土屋 亮	P-32	70	村瀬 智明	P-09	58
<b>か</b>			<b>な</b>			<b>も</b>		
金井 光康	P-07	57	仲田 奈生	P-29	69	百瀬 公久	P-44	77
菅野 真紀	P-13	60	中俣 恵美	P-01	54	森嶋 悠人	P-22	65
神戸 誠	P-34	72	長屋 千鶴子	P-08	58			
<b>き</b>			<b>に</b>			<b>や</b>		
木之瀬 晴香	P-10	59	錦織 翼	P-37	73	柳田 恵理子	P-24	66
<b>く</b>			<b>ひ</b>			<b>よ</b>		
久原 望未	P-27	68	東 佐恵子	P-19	63	吉村 俊二	P-12	60
熊居 慶一	P-39	75	平岩 和美	P-28	68			
<b>こ</b>			<b>へ</b>			<b>わ</b>		
合田 明生	P-45	78	平尾 文	P-26	67	渡邊 祐里	P-31	70
			平川 樹	P-14	61	渡邊 ゆり	P-43	77

# 協賛一覧

## 企 業

---

ノバルティス・ファーマ株式会社  
クラシエ製薬株式会社  
日清オイリオグループ株式会社  
東洋羽毛工業株式会社  
CYBERDYNE 株式会社  
株式会社 MCBI  
株式会社日本文化科学社  
レキオファーマ株式会社  
エーザイ株式会社  
株式会社ツムラ  
株式会社トータルブレインケア  
ニプロ株式会社  
株式会社ファンケル  
株式会社メディカルプレス  
株式会社 GE ウェルネス  
第一三共株式会社  
くどうちあき脳神経外科クリニック  
浜松人間科学研究所  
大塚製薬株式会社  
(医) 暁清会小林脳神経外科  
丸善雄松堂株式会社

## 個 人

---

山崎 雅男  
宮嶋 裕明  
志村 宇城  
小山 幸代  
犬塚 貴  
石垣 泰則